

報告第 26 号

令和 2 年度一般財団法人宇治市福祉サービス公社事業並びに  
決算の報告について

地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき、令和 2 年度一  
般財団法人宇治市福祉サービス公社事業並びに決算について、別紙  
のとおり報告する。

令和 3 年 9 月 16 日提出

宇治市長 松 村 淳 子



3一財宇福公第 0228 号

令和 3 年 7 月 5 日

宇治市長 松村 淳子 様

一般財団法人宇治市福祉サービス公社

理事長 塚原 理俊



2020 年度（令和 2 年度）一般財団法人宇治市福祉サービス公社

事業報告書及び決算報告書の提出について

上記のことについて、一般財団法人宇治市福祉サービス公社の理事会及び評議員会において別添の通り承認されましたので報告いたします。

理事会議案第1号  
評議員会報告第1号

「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2020年度（令和2年度）事業報告書」について

一般財団法人宇治市福祉サービス公社2020年度（令和2年度）事業報告を次のとおり報告する。

一般財団法人宇治市福祉サービス公社  
理事長 塚 原 理 俊

令和3年5月31日 理事会 提出・可決  
令和3年6月23日 定時評議員会 報告

2020年度（令和2年度）

# 事業報告書

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

# 2020年度（令和2年度）事業報告書 目次

<b>I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）</b>		
総括	-----	1
重点項目実施状況	-----	2
<b>II 理事会・評議員会等開催状況</b>		
（1）理事会開催状況	-----	4
（2）評議員会開催状況	-----	7
<b>III 役員・評議員等名簿</b>	-----	8
<b>IV 事業実績</b>		
公社独自事業	-----	9
介護保険事業	-----	13
障害者総合支援事業	-----	17
宇治市受託事業	-----	19

## I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

### 総括

2020年度（令和2年度）は、新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延により緊急事態宣言が二度に亘り発出される等、かつて経験したことがない一年であった。

公社においても宣言期間中は宇治市からの委託事業が休止になる等、事業運営面で不安定な一年間となったが、職員が一丸となって日々の感染防止対策に最大限努めることにより、介護保険事業等の各種事業については、大きな混乱もなくサービス提供を継続することができた。

一方で、外部開催の研修や内部の会議・委員会活動等については、感染防止対策の一環として可能な範囲でオンライン開催等を活用しながら実施した他、第三者評価受診等の事業計画に掲げていた一部事業については、次年度へ延期することにした。

年間を通してこのようなコロナ禍の大変な状況が続く中ではあったが、事業計画の重点項目の一つに掲げていた「経営改革5ヵ年計画」の3年度目の取り組みとして、①各種事業における職員定数について、②定年退職後の雇用条件について、③市の委託事業の在り方について、④新規事業の具体的な検討について等、経営改革5ヵ年計画推進調整会議で検討を重ねてきた経過内容を「中間まとめ」として整理し、それを受けて理事会で「当面の経営方針」として決定し、経営改革を進めてきた。

その結果、財務健全化に向けた具体的な数値目標であった、①単年度黒字 5,000 千円以上の確保、②収入に対する人件費の割合を 78%未満に抑制、③5ヵ年計画終了後の 2023 年度（令和5年度）に将来に向けた経営安定化のため「財務運営調整基金」の設置、以上の3項目については、新型コロナウイルス感染防止に係る国の支援金等の特殊要因による収入を含めてではあるが、前倒しでの目標達成となった。

また、当期の収支決算は、収支計算書で 17,040 千円の黒字（前期 3,350 千円の黒字）、正味財産増減計算書で 24,010 千円の増加（前期 3,070 千円の増加）となり、数字上は一定の増益を確保したものの、この間の経営悪化の主たる要因の一つであった介護保険事業等による収益事業自体の減収傾向に歯止めがかかっておらず、財務構造的には依然として厳しく、財務健全化に向けての課題解決には至っていない。

新型コロナウイルス感染症による影響は 2021 年度（令和3年度）も引き続き生じており、公社の事業運営を取り巻く情勢はこれまでにない先行き不透明な状況に置かれているが、公社の主要事業である「公社独自事業」、「介護保険事業」、「障害者総合支援事業」、「市受託事業」の4本柱の事業をそれぞれの確に遂行するとともに、今後起こり得る様々な社会情勢の変化に適應できるよう、「中間まとめ」の趣旨を踏まえ、宇治市や宇治市社会福祉協議会をはじめとする関係機関や諸団体との連携・協力のもと、宇治市域における在宅保健・福祉サービスの更なる充実・向上に寄与していくよう取り組んでいく所存である。

## 重点項目実施状況

2020年度（令和2年度）の重点項目については以下の通り取り組んだ。

### （1）「経営改革5ヵ年計画」に基づく財務健全化への取り組みを推進する。

「経営改革5ヵ年計画」に基づいた改革の取り組みは、3年度目となる2020年度（令和2年度）においては、役職員の身を切る改革や職員体制の見直し等による人件費の抑制、宇治市からの委託事業の一部仕様の見直し等による委託料の増額等により、当初の見込みを上回る増益での決算となった。

その結果、事業計画に掲げた「単年度当期収支黒字5,000千円以上」、「人件費比率78%未満」、「財調基金の設置」、の数値目標については、目標年次よりも早く達成することができたが、収益事業である介護保険事業等の収入は前年度を大幅に下回る等、財務構造は引き続き不安定な状況にある。

宇治市の受託事業については、今年度は生活支援体制整備事業で新たに2層協議体生活支援コーディネーター業務の受託等をし、委託料の増額はあったものの、介護予防事業、初期認知症総合相談支援事業は据え置きのみであり、第8期介護保険事業計画の初年度にあたる令和3年度も引き続き委託料の見直しや委託仕様の変更等を協議していく必要がある。

介護保険事業の収入減の大きな要因は、慢性的な介護・福祉人材不足であり、ニーズは増えているがそれに応えられるサービス供給体制を整えることができず、介護事業者にとっては大変厳しい雇用状況が続いている。今年度に採用できた介護職員数は8名（正規職員2名、アルバイト職員4名、契約ヘルパー2名）であり、欠員補充ができないままで年度を終えた係もあった。

また、経営改革5ヵ年計画推進調整会議を計8回開催し、事業ごとの「事業評価シート」により、担当職員等から業務内容や現況と課題を聞き取り、事業内容の見直しや財務構造の改善についての議論を通して改革案をまとめてきたことを踏まえて、職員の効率的な定数配置や事業ごとに収支を意識した事業運営に留意した改革の進行管理を行い、併せて役員報酬のカット、管理職の定期昇給停止等の痛みを伴う改革も引き続き行った。

### （2）地域保健福祉の拠点を担う公社の役割の整理と、地域に貢献できる効果的・効率的な事業運営を推進する。

2019年（令和元年）10月末で営業を休止した東宇治事業所認知症対応型デイサービスについては、再開に向けて、①人材確保の観点、②現状の場所での再開、③ニーズに対応したサービス提供等、運営の立て直しに必要なデータ集積や宇治市介護保険課との協議等を行い検討したが、現状での再開は経営的にも、人材確保の上でも困難との判断により、2020年（令和2年）8月末を以って廃止することにした。今後は初期認知症事業の経験を活かし、新たな認知症デイサービスの在り方等について研究・検討をしていく。

宇治市による地域福祉センターの改修を踏まえた、指定管理者として地域の介護予防・高齢者

等の活動拠点となり得る活用方法の提案については、地域の高齢者をはじめとする住民に積極的に活用いただけるように、総合事業による利用と併せて、公社として更に地域に根差した独自の取り組みを進める予定であったが、感染防止の観点から地域福祉センター事業そのものが休止、縮小を余儀なくされたため、実施には至らなかった。

### (3) 人材難を乗り越えるために、業務内容、役割分担の見直し、職場環境の改善等に向けた一体的な取り組みを推進する。

2020年（令和2年度）は感染防止に努めながら、各事業を継続することが至上命題であり、そのため、職員の健康管理を最重点に各種の助成制度の導入を図りながら、公社独自に様々な手立てを講じた。その結果、職員や関係者から一人の感染者も出すことなく事業継続を図ることができたことは大きな成果であった。

通常の業務に加えて感染防止のため、より多くのストレスを抱える職員に対しては、時間外勤務命令の明確化や、管理職による声かけ、業務内容の整理等、係単位での負担軽減・業務適正化に努めた。

職員の経験、役職に応じた計画的な研修体系の見直しと実践については、管理職、係長職を対象としたリーダー研修を介護労働安定センターから講師派遣を受けて取り組んだ。

人材確保に向けた取り組みとしては、2020年度（令和2年度）より委員会活動としてリクルート委員会を新たに設置し、人材確保や育成に必要な事項について、現場職員の参画を得て協議を行い、その中で、現在公社で働く全ての職員に対する調査を実施することとなり、京都府の「福祉職場組織活性化プログラム」のアンケート調査を行い、公社の強みや弱みについて明らかにできた。それらの結果を踏まえた具体的な取り組みについては、新年度においても引き続き進めていく。

介護人材の確保が益々困難になる中、幅広い年齢層や多様な働き方に対応できる就労条件・環境の整備が必要となるため、短時間勤務やダブルワーク等、多種多様な働き方ができる仕組みづくりに取り組み、一部規程の改定等を行った。今後も定年延長や再雇用制度の見直し、多様な働き方に対応した仕組みづくりに努めていく必要がある。



【新型コロナウイルス感染症対策として飛沫防止パネルを京都認知症総合センターの作業工房に製作依頼】



## Ⅱ 理事会・評議員会等開催状況

### (1) 理事会開催状況

#### 第57回 理事会 [令和2年6月9日開催]

議案第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2019年度(令和元年度)事業報告書(案)」について
議案第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2019年度(令和元年度)決算報告書(案)」について
議案第3号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2019年度(令和元年度)公益目的支出計画実施報告書(案)」について
議案第4号	「第20回評議員会の招集」について
議案第5号	「評議員の選任」について
議案第6号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第1号	「理事長等執務報告」について
報告第2号	「経営改革5ヵ年計画の進捗状況」について
報告第3号	「2019年度事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第4号	「2020年度夏季賞与、特別賞与の支給」について
報告第5号	「新型コロナウイルスの感染防止対策及び影響等」について

#### 第58回 理事会 [令和2年8月11日開催]

議案第7号	「経営改革5ヵ年計画推進調整会議の<第3回中間まとめ>を受けた当面の経営方針(案)」について
議案第8号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員退職金規程」の一部改正について
議案第9号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第10号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について
報告第6号	「理事長等執務報告」について
報告第7号	「2020年度(令和2年度)第1四半期収支実績」について
報告第8号	「経営改革5ヵ年計画推進調整会議の第3回中間まとめ」について
報告第9号	「宇治市出資法人自己評価報告書の提出」について

第59回 理事会 [令和2年11月17日開催]

議案第11号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2020年度(令和2年度)収支補正予算書〈第1号〉(案)」について
報告第10号	「理事長等執務報告」について
報告第11号	「2020年度(令和2年度)上半期収支実績・決算見込み」について
報告第12号	「2020年度(令和2年度)冬季賞与・特別賞与の支給」について
報告第13号	「2020年度(令和2年度)上半期事故・苦情・サンクスレポート」について

第60回 理事会 [令和3年1月28日開催]

報告第14号	「理事長等執務報告」について
報告第15号	「2020年度(令和2年度)第3四半期の収支実績・決算見込み」について
報告第16号	「2021年度(令和3年度)事業計画の概要」について
報告第17号	「広野居宅介護支援事業所実地指導(令和2年12月1日実施)に伴う運営基準違反の判明」について

第61回 理事会 [令和3年3月4日開催]

議案第12号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 財務運営調整基金規程」の制定について
議案第13号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 事務局組織規則」の一部改正について
議案第14号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
議案第15号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員職名要綱」の一部改正について
議案第16号	「経営改革5ヵ年計画推進調整会議の〈第4回中間まとめ〉を受けた当面の経営方針(案)」について
議案第17号	「管理職の人事異動」について
議案第18号	「第21回評議員会の招集」について
報告第18号	「理事長等執務報告」について
報告第19号	「経営改革5ヵ年計画推進調整会議の第4回中間まとめ」について
報告第20号	「2020年度(令和2年度)決算見込み」について
報告第21号	「2021年度(令和3年度)予算編成方針及び事業計画重点項目」について

第62回 理事会 [令和3年3月25日開催]

議案第19号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2021年度(令和3年度)事業計画書(案)」について
議案第20号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2021年度(令和3年度)収支予算書(案)」について
議案第21号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 ハラスメント防止規程」の制定について
議案第22号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員就業規則」の一部改正について
議案第23号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 契約職員規程」の一部改正について
議案第24号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第25号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について
議案第26号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 育児・介護休業規程」の一部改正について
報告第22号	「2020年度(令和2年度)決算見込み」について



【京都府の新型コロナウイルス対策緊急支援事業補助金(飾花事業)による市内生花店からの花の寄贈】

## (2) 評議員会開催状況

### 第20回 定時評議員会 [令和2年6月26日開催]

議案第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2019年度(令和元年度)決算報告書(案)」について
議案第2号	「評議員の選任」について
報告第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2019年度(令和元年度)事業報告書」について
報告第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2019年度(令和元年度)公益目的支出計画実施報告書」について
報告第3号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第4号	「理事長等執務報告」について
報告第5号	「経営改革5ヵ年計画の進捗状況」について
報告第6号	「2019年度事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第7号	「2020年度夏季賞与、特別賞与の支給」について
報告第8号	「新型コロナウイルスの感染防止対策及び影響等」について

### 第21回 評議員会 [令和3年3月25日開催]

報告第9号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2021年度(令和3年度)事業計画書」について
報告第10号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2021年度(令和3年度)収支予算書」について
報告第11号	「2020年度(令和2年度)決算見込み」について
報告第12号	「経営改革5ヵ年計画推進調整会議の中間まとめ」について



【助成金を活用した感染対策の備品整備】

### Ⅲ 役員・評議員等名簿

#### (1) 役員名簿（令和3年3月31日現在）

役職	氏名	備考
理事長	塚原 理俊	有識者
副理事長	奥西 隆三	宇治市社会福祉協議会会長
専務理事	栢木 利和	宇治市福祉サービス公社理事
理事	有賀やよい	医師
理事	笹部 和男	弁護士
理事	五艘 雅孝	有識者
理事	藤田 佳也	宇治市健康長寿部部長
理事	小松美恵子	有識者
理事	平田 研一	有識者
監事	服部 広志	京都銀行宇治支店長
監事	池田 正彦	宇治東福社会理事長

名誉理事長	岡本 民夫	前宇治市福祉サービス公社理事長
顧問	伊藤 義明	前宇治市福祉サービス公社副理事長

#### (2) 評議員名簿（令和3年3月31日現在）

役職	氏名	備考
評議員	岡野 英一	元龍谷大学教授
評議員	大西 幸江	宇治市女性の会連絡協議会役員
評議員	山崎 彰	宇治市連合喜老会副会長
評議員	神野 君夫	宇治久世医師会
評議員	関戸 安夫	宇治市民生児童委員協議会理事
評議員	波戸瀬 亮	宇治市健康長寿部副部長

#### (3) 第三者委員名簿（令和3年3月31日現在）

役職	氏名	備考
委員	山北千代子	
委員	山花 啓伸	

※介護保険事業・障害者総合支援事業の利用者等に対するの第三者的な相談・苦情窓口

## 公社独自事業

＜定款第4条(1)＞ 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

＜定款第4条(2)＞ 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

＜定款第4条(10)＞ 地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援、助成事業



【コロナ禍でも定員を上回る受講生を得たほほえみ介護塾】



【コロナ禍でのフレイル予防をテーマにしたボランティア研修会の開催】

<定款第4条(1)> 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

公社会員の状況

《2020年（令和2年）度会員数》 賛助会員（法人会員25団体・個人会員87名）

情報誌の発行

公社情報誌「ぽっぽ」（2,000部発行）を公社会員や利用者、関係機関等に配布し、知識・情報の普及啓発を行った。

◆実績

第47号（令和3年1月発行）

講師派遣

「ほほえみ介護塾」をはじめ、様々な講習会等に職員を派遣し、在宅保健福祉サービスについての知識の普及啓発を行った。

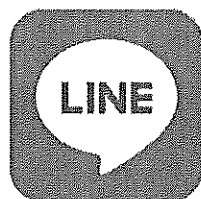
◆実績

派遣内容	派遣回数
介護塾講師	35回
宇治市生活支援員（39支援員）養成講座	14回

情報の収集と提供

公社情報誌「ぽっぽ」、公社ホームページを活用して利用者・市民に向け、公社で実施する事業の情報提供を行った。

また、インターネット上における介護関係の情報収集に努め、各職員に周知を図るとともに、事業所ブログ（年間更新58回）やFacebookやTwitter、Instagram、LINE公式アカウントを活用して、公社の取り組みや最新情報の発信に努めた。



【公社公式LINE登録QRコード】

## <定款第4条(2)> 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

### 介護保険外訪問介護サービス（自主サービス） 通称「ほほえみサポート」

介護保険法で対応できない家事支援等の利用者ニーズに対して、自主サービスとして実施した。

#### ◆実績

（ほほえみサポート）

実人数	20名（介護・障害・産後）
派遣回数	110回
派遣時間	122:30時間

（院内介助）

	東宇治	ぼっぼ	計
実人数	5名	8名	13名
派遣回数	7回	20回	27回
派遣時間	17:30時間	23:45時間	41:15時間

### 福祉人材研修事業

#### 1) ほほえみ介護塾

介護人材の確保が喫緊の課題となっている状況において、ほほえみ介護塾は自社での養成事業として重要な役割を持つ事業である。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、開催日程を変更して開催したが、定員10名を超える12名の応募があり、内、3名が入職に繋がった。

#### ◆実績

実施時期	8月31日～12月9日
受講者数	12名
修了者数	12名
入職者数	3名

#### 2) 介護技術習得・介護予防ボランティア養成サービス

これまでは、介護予防事業を支援するサポーターの育成や既にサポーターとして活躍している方々の研修の場として、年間4回程度の研修会を企画してきたが、新型コロナウイルスの感染防止により、ボランティア活動が制限される中、研修会を通常通りに企画することが出来なかった。

活動が制限される中、自粛生活での健康維持に不安の声も聞かれ、また、繋がりを途切れさせないために、意見交換会をメインとして「コロナ禍でのフレイル予防」のテーマで研修会を開催し、多人数にならないよう、これまでに関わりのある方に限定して3回に分けて実施した。



◆実績

開催日	テーマ	参加者数
12月3日	身体をバランスよく動かしてフレイル予防！ (西小倉地域福祉センター)	16名
12月11日	身体をバランスよく動かしてフレイル予防！ (東宇治地域福祉センター)	24名
12月16日	身体をバランスよく動かしてフレイル予防！ (福祉サービス公社中宇治事業所)	18名

3) 公社サービス利用者等リハビリサポート

リハビリ専門職が公社内外のデイサービスやケアマネジャー等からの依頼を受けて、サービス利用者へ運動指導や福祉用具を含む住環境改善等のアドバイスを行った。

介護予防事業での連携を含む地域包括支援センターから12件、ケアマネジャーから4件、訪問看護から3件、ホームヘルプサービスから2件、相談支援員から1件の相談があった。

◆実績

	運動指導等 リハビリ相談	福祉用具等 住環境改善相談	教室終了後 フォロー
実施回数	17回	4回	3回

輝き支援事業

平成17年度から26年度までの10年間に亘り、市受託事業として取り組んできた「輝き支援2015～高齢期支援システム創造事業～」の後継事業として実施した。

1) 活動支援

◎ 地域の美化活動支援（ガーデニングボランティア）

西小倉地域福祉センター及び公社中宇治事業所近くの空き地（「ぼっぼガーデン」と命名）の2カ所の花壇を、ガーデニング教室から派生したガーデニングボランティアの皆さんと、春・秋の花壇の設計、植え替えを中心に、4月～11月は月2回、12月～3月は月1回管理作業を行った。

また、「ぼっぼガーデン」は、例年府立宇治支援学校高等部の協力も得て、生徒とボランティアが協働して活動するが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から今年度の活動については自粛した。

# 介護保険事業

<定款第4条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業

<定款第4条(4)> 訪問介護、訪問介護相当サービス、生活支援型訪問サービスに関する事業

<定款第4条(5)> 通所介護、通所介護相当サービスに関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業



【感染防止の飛沫防止パネルを設置してのレクリエーション】

<定款第4条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

### 居宅介護支援事業

要支援・要介護の方からの相談に応じて、利用者の希望や心身の状態等を考慮した、適切な在宅または施設のサービスが利用できるよう、各種サービス事業者との連携を図り、介護及び介護予防サービス計画の作成、サービス提供の確保を行った。

#### ◆実績

	西小倉	東宇治	広野	中宇治	計
介護支援専門員数	5名	5名	5名	4名	19名
延給付管理件数	2,216件	1,868件	1,965件	1,710件	7,759件
事業対象者	0	0	43	0	43
要支援1	95	190	149	236	670
要支援2	199	132	285	235	851
要介護1	861	732	629	779	3,001
要介護2	493	433	435	278	1,639
要介護3	340	210	193	83	826
要介護4	115	103	135	95	448
要介護5	113	68	96	4	281
一人当たり給付管理/月	34.5件	28.5件	28.8件	30.7件	30.6件

※一人当たり給付管理は、予防給付等（事業対象者・要支援1・2）については1/2件でカウント



【オンラインによる社内会議の風景】

<定款第4条(4)> 訪問介護、訪問介護相当サービス、生活支援型訪問サービスに関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

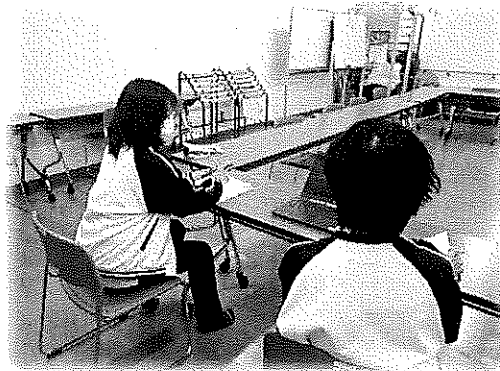
訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

要支援・要介護の方に対して、ホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、排泄・食事・入浴等の身体介護や、掃除・調理等の生活援助を行った。

◆実績

			東宇治	ぼっぼ	計
* 介 護 給 付	身 体 介 護	延利用人数	354名	525名	879名
		延派遣回数	5,603回	8,186回	13,789回
	身 体・生 活	延利用人数	294名	310名	604名
		延派遣回数	2,208回	2,334回	4,542回
	生 活 援 助	延利用人数	587名	1,245名	1,832名
		延派遣回数	3,558回	8,899回	12,457回
* 予 防 給 付	予 防 介 護 I (週1回程度の訪問)	延利用人数	425名	521名	946名
		延派遣回数	1,631回	1,987回	3,618回
	予 防 介 護 II (週2回程度の訪問)	延利用人数	57名	137名	194名
		延派遣回数	471回	1,134回	1,605回
	予 防 介 護 III (週2回程度を超える訪問)	延利用人数	1名	2名	3名
		延派遣回数	10回	26回	36回
総合 事業	生活支援型訪問サービス (週1回程度の家事)	延利用人数	35名	68名	103名
		延派遣回数	113回	264回	377回
計		延利用人数	1,753名	2,808名	4,561名
		延派遣回数	13,594回	22,830回	36,424回

※介護給付は要介護1～5の方、予防給付は要支援1～2の方、総合事業は事業対象者・要支援の方を対象



【京都府理学療法士会の支援を頂き、サービス提供責任者研修をオンラインで実施】

<定款第4条(5)> 通所介護、通所介護相当サービスに関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

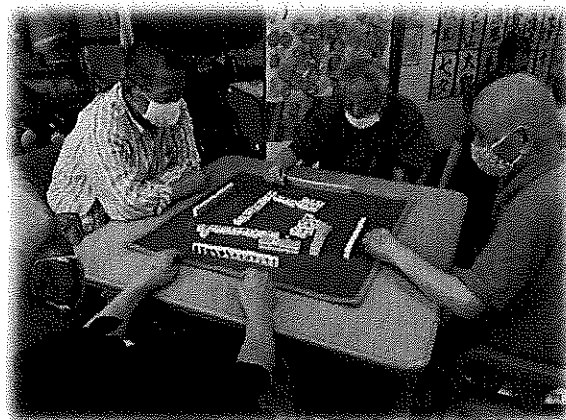
### 通所介護事業（デイサービス）

要支援・要介護状態の方に対して、通所（送迎）による入浴、食事等の各種サービス、及びそれぞれのニーズに応じた介護、機能訓練等を提供し、利用者個々に満足してもらえるサービスの提供を行った。

令和元年10月末で営業を休止した東宇治事業所認知症対応型デイサービスについては、令和2年8月末を以て廃止することになった。

#### ◆実績

施設区分	西小倉		東宇治	広野	計
	通常型	認知症型	通常型	通常型	
定員	25名	10名	25名	23名	83名
運営日数	361日	310日	361日	361日	
延利用人員	8,285名	2,026名	7,541名	6,660名	24,512名
事業対象者	0	0	0	22	22
要支援1	19	0	101	44	164
要支援2	848	0	933	506	2,287
要介護1	3,679	662	1,982	2,506	8,829
要介護2	2,000	617	2,326	1,345	6,288
要介護3	922	397	1,615	1,343	4,277
要介護4	548	226	202	573	1,549
要介護5	269	124	382	321	1,096
1日平均人数	23.0名	6.5名	20.9名	18.4名	



【感染防止のためマスク着用で麻雀】

# 障害者総合支援事業

<定款第 4 条(7)> 障害者福祉サービスに関する事業

<定款第 4 条(8)> 障害児福祉サービスに関する事業

<定款第4条(7)・(8)> 障害者・障害児福祉サービスに関する事業

居宅介護事業（ホームヘルプサービス）

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、可能な限りその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援した。

◆実績

	東宇治	ぼっぼ	計
実利用者数	30名	54名	84名
派遣回数	3,302回	7,836回	11,138回
派遣時間	4,537:30時間	6,755時間	11,292:30時間

移動支援

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、外出のための移動支援を行った。

◆実績

	東宇治	ぼっぼ	計
実利用者数	2名	8名	10名
派遣回数	482回	188回	670回
派遣時間	241時間	135時間	376時間

障害者相談支援センター

在宅サービスを利用する障害児・者に対してサービス等利用計画が必須となっていることから、これに対応するために2名の相談支援専門員を配置して相談支援に当たった。

◆実績

	サービス利用計画作成
総件数	667件
実人数	58名

# 宇治市受託事業

<定款第4条(9)> 在宅保健福祉サービスに関する受託事業



【若年性認知症のご本人お二人が登壇した第7回認知症フォーラム in 宇治】



## <定款第4条(9)> 在宅保健福祉サービスに関する受託事業

### 訪問型事業

#### 1) 訪問指導事業（健康増進法に基づく事業）

40歳以上65歳未満の心身機能が低下している方を対象に、自宅を訪問し、運動指導や日常生活動作指導を行う事業であり、介護保険や障害者総合支援法等で当該事業に相当するサービスを利用できる方は除外され、市の担当者に必要と判断された方が対象となる。

前年度に続き、広報等が不十分で、条件に合う方の相談もなく、実績がない状況であった。今後は事業が活かされるよう、市と協議・連携を強化する必要がある。

#### 2) 訪問型短期集中予防サービス

短期集中予防サービスの訪問型の内、主に運動面に係る支援について委託を受け、地域包括支援センター等のケアマネジャーが作成するプランに基づき、1対象者当たり3ヵ月間で最大6回の支援を行う。リハビリ専門職の視点から、生活課題に対する評価や改善プログラムを計画し取り組みを支援した。

また、通所型サービス利用者は、訪問型を最大2回まで利用し、自宅での状況把握や指導を行うことで、生活課題の改善に向けた支援に繋げた。

◆実績 延べ 79件（実人数 41名）  
内) 通所型併用 36名に50件  
訪問型 5名に29件

### 通所型介護予防事業

#### 1) 健康倶楽部

65歳以上の市民を対象に、市が市政だよりで募集し抽選で決定した対象者に対して、運動器機能向上プログラムを中心とした一般介護予防事業「健康倶楽部」を行った。

自分の体重を活用した運動を主とする「スロートレーニング教室」、機器を使ったトレーニングで身体の動きやすさを改善する「パワリハトレーニング教室」、複合型のプログラムを有した「スロートレーニング教室（ミックス）」の3種類の教室を広野地域福祉センター等の各会場にて実施し、広野地域福祉センターについては、後期は工事に伴い会場を変更して行った。

今年度は、新型コロナウイルスの影響を受け4月～5月の事業が中止となり、以後も、前期は半数ずつに分かれての開催、後期も緊急事態宣言中には会場の使用制限での中止や半数ずつでの開催が発生し、コロナ禍の状況に左右された一年となり、人数制限の状況でボランティアの参加も宇治市の指示のもと受け入れを中止した。

5月までの中止期間には、代替え業務として、動画作成・資料作成・資料等発送とヒアリング業務を請け負った。

◆スロートレーニング教室

(実施回数) 149回  
 (実人数) 122名  
 (延参加者数) 1,377名

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
東宇治A	29名	288名	38回	7.6名
東宇治B	31名	370名	38回	9.7名
西小倉	29名	353名	38回	9.3名
広野/リエゾン	33名	366名	35回	10.5名
計	122名	1,377名	149回	9.2名

◆パワリハトレーニング教室

(実施回数) 208回  
 (実人数) 153名  
 (延参加者数) 1,588名

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
A広野/リエゾン	50名	512名	60回	8.5名
B黄檗	55名	608名	74回	8.2名
C広野/平盛	48名	468名	74回	6.3名
計	153名	1,588名	208回	7.6名

◆スロートレーニング教室 (ミックス)

(実施回数) 66回  
 (実人数) 50名  
 (延参加者数) 487名

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
あいらの杜	20名	164名	30回	5.5名
広野/西小倉	30名	323名	36回	9.0名
計	50名	487名	66回	7.4名

## 2) 通所型短期集中予防サービス

短期間で集中的に心身機能の向上に取り組み、生活課題を改善し日常生活への定着を目標とするサービスとして、栄養・口腔ケアの内容を含む複合型のコースを2会場それぞれ週1回ずつ実施し、参加者は随時受け入れ、一人につき10回を1クールとし、年間各会場40回の予定で開催した。

地域包括支援センター等のケアマネジャーによるプランに基づいて実施し、通所前後を含む期間中の最大2回までの訪問型サービスを併用し、自宅での評価や指導を行った。

今年度は、新型コロナウイルスの影響を受け4月～5月の事業が中止となり、以後も、送迎車への乗員人数制限や時間短縮など参加者の感染リスクを考慮した対策の中での開催となった。

5月までの中止期間には、代替え業務として、動画作成・資料作成・資料等発送とヒアリング業務を行った。

また、広野地域福祉センターの工事に伴い、後期は、西小倉地域福祉センターに会場を変更して行った。

### ◆通所型短期集中予防サービス

(実施回数)	73回
(実人数)	27名
(延参加者数)	179名

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
黄檗体育館	13名	86名	36回	2.4名
広野/西小倉	14名	93名	37回	2.5名
計	27名	179名	73回	2.5名

## 3) セルフパワリハ

65歳以上の利用希望者で、宇治市健康生きがい課で受け付け登録された方が、実施日に広野地域福祉センターへ来所してトレーニングを行う事業であり、基本的に利用者の自己管理・自主トレーニングであるが、機器操作や運動方法、安全管理等を専門職員が指導した。

10月からは、広野地域福祉センターの工事が予定されていたため、可能な限り月曜の午後に振り替えて実施した。

今年度は、新型コロナウイルスの影響を受け、4月～6月の事業が6月の登録以外中止となり、再開後は宇治市の指示により、抽選による時間入れ替え制で人数を16名までとして実施した。後期の緊急事態宣言下では、さらに同一時間の滞在人数を半分に制限することとなった。

内容については、滞在時間の短縮のため、各自での準備体操と機器トレーニングのみとなった。中止期間の代替え業務として、動画作成（ウォーキングについて）を行った。

### ◆実績

会場	実施回数	新規登録者数	延参加者数
広野	61回	8名	1,651名

#### 4) 認知症予防教室

介護予防事業として、65歳以上で認知機能の活性化に関心のある方に対して、市内の介護予防拠点施設を中心に「あたまイキイキ教室」を開催し、教室に継続的（週1回22回）に参加する中で、他者との交流を深めながら、脳活性化訓練等を積極的に行い、生活の活性化を図ることを目的として実施した。

地域包括支援センターの増加に伴い、年間8会場での実施となった。今年度は、前年度に参加していない方に対して優先的に参加していただき、本来定員は16名であるが、開催時期や会場の広さ等を考慮して、会場ごとにコロナ禍でも安全に実施できる人数に制限して受け付けた。

その後、新型コロナウイルスの感染拡大により、4月～5月の事業が中止となり、6月開始となった2会場では、密を避けるため半数ずつに分かれて隔週での参加、会場の都合で7月開始となった2会場では、定員を10名に制限することとなった。

また、使用を中止される施設があり当初計画から会場を変更しての実施となったり、時間に制限がでる会場では時間を短縮しての実施となり、後期も緊急事態宣言中には会場の使用制限での中止や半数ずつでの開催が発生し、コロナの状況に左右された一年となり、人数制限の状況でボランティアの参加も宇治市の指示のもと受け入れを中止した。

5月までの中止期間には、代替え業務として、動画作成・資料作成・資料等発送とヒアリング業務を行った。

##### ◆実績

（実施回数）	136回
（実人数）	115名
（延参加者数）	1,381名

会場	実人数	延参加者数	回数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
うじ安心館	20名	126名	16回	7.9名
ハーモニーやまはた	9名	111名	13回	8.5名
リゾ 宇治おおくぼ	18名	116名	15回	7.7名
西小倉地域福祉センター	10名	109名	12回	9.1名
東宇治コミュニティセンター	16名	251名	22回	11.4名
小倉デイホーム	15名	254名	22回	11.5名
榎島地域福祉センター	14名	230名	20回	11.5名
あいらの杜宇治五ヶ庄	13名	184名	16回	11.5名
計	115名	1,381名	136回	10.2名

## 5) 脳活性化教室（頭すこやか講座）

申込不要の認知症予防に関する講座であったが、新型コロナウイルスの影響を受け、事前申し込み制での開催となった。

4月～6月は中止となり、7月以降、40名までに人数制限をして開催し、緊急事態宣言中は、更に人数を半数に制限することとなった。

3会場で月1回ずつ実施し、月ごとにテーマを決めた講話と脳活性化ゲーム・運動を毎回取り入れ、健康づくりに役立つ内容とし、テーマの中には栄養講話や口腔ケアの内容も盛り込んだ。

### ◆実績

（実施回数） 27回

（延参加者数） 841名

会場	延参加者数	回数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
東宇治地域福祉センター	281名	9回	31.2名
西小倉地域福祉センター	275名	9回	30.6名
うじ安心館	285名	9回	31.7名
計	841名	27回	31.1名

## 6) 地域リハビリテーション活動支援事業（地域 de げんき講座）

地域で介護予防に取り組むグループの活動や自主グループの立ち上げを支援する目的で、リハビリテーションの専門職等が地域の活動へ出向き、グループの要望に応じた講話や体験を提供し、介護予防の啓発や身近な地域での健康維持・増進に役立てていただく事業として、昨年度から受託した。

市政だよりとチラシの配布等で募集し、電話で受け付けた。半数が65歳以上で構成される10名以上の登録があるグループを対象に、運動や脳活性化等の内容を提供し、実施状況の振り返りや依頼団体の把握のためのアンケートも実施した。

新型コロナウイルスの影響で交流会は行えず、また、4月7日～5月21日の緊急事態宣言中には、予約のあったグループへ連絡して、中止や延期の対応を行った。

### ◆実績

（実施回数） 30回

（延参加者数） 455名

## 地域包括支援センター運営事業

市からの受託事業として、市内3カ所（西宇治、東宇治南、中宇治）を拠点に、地域包括支援センターの運営事業を行った。

### 1) 介護予防支援事業（事業対象者・要支援1・2の方の給付管理）

#### ◆実績

	西宇治	東宇治南	中宇治	計
予防給付年間給付管理件数	2,035	2,006	1,795	5,836
新規発生件数	47	39	48	134
総合事業年間給付件数	1,322	1,212	1,002	3,536
新規発生件数	41	30	41	112

※居宅介護支援事業所への委託件数含む

### 2) 総合相談・権利擁護・包括的支援事業

#### ◆実績

相談対応の内容等	西宇治	東宇治南	中宇治	計
新規相談者数	558名	491名	475名	1,524名
（再掲）独居・高齢者世帯	306	325	277	908
（再掲）認知症・精神疾患	124	167	119	410
相談延べ件数	2,385	2,254	2,851	7,490
高齢者虐待に関すること(延べ)	222	335	147	704
ケアマネ支援(実人数)	17名	22名	43名	82名

### 3) 小地域包括ケア会議開催

#### ◆開催状況一覧

包括名	開催日	参加者数	テーマ
西宇治	8月25日	23名	認知症独居高齢者の支援を考える
	11月25日	15名	アルコール依存症を抱える独居女性の支援
東宇治南	11月26日	26名	羽戸山地域の高齢化を一緒に考えよう
中宇治	12月18日	15名	1人で抱えず皆で支えるために琵琶台地域で自分たちができること

#### 4) 初期認知症総合相談支援事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名（社会福祉士・看護師）と補助職員1名を配置し、医療、福祉等とのネットワークを形成し、認知症の人や家族に対し、状況に応じた適切な支援を行うことと、初期認知症の特性に配慮して切れ目のない支援を提供するために、状況に応じた適切な医療、介護等との連携を図るとともに、必要となる社会資源等を構築することを目的に実施した。

8年目となる今年度は、新型コロナウイルス感染症により事業の休止、縮小、内容の変更等を余儀なくされたが、これまで培ってきたれもねいど加盟団体・企業やれもねいだーの協力を得ながら事業の継続に取り組んだ。

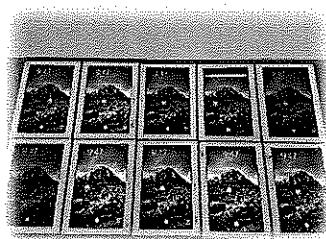
##### ① 認知症対応型カフェの企画・管理

宇治市全域のれもんカフェを12回、管轄圏域のカフェを12回、計24回(市全体では年36回)のれもんカフェを開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響で全域の4月分、5月分、中宇治圏域の4月分、東宇治北圏域の5月分の計4回が中止となった。

今後のコロナ禍による休止に備えて宇治市のタブレット貸与事業が始まり、オンラインを併用したれもんカフェの開催に取り組んだ。

圏域名	開催場所	開催回数	参加者数
全域	宇治市総合福祉会館	10回	195名
東宇治北圏域	カフェクラリネ・木幡地域福祉センター	2回	13名
東宇治南圏域	宝善院・東宇治地域福祉センター	3回	38名
南部・三室戸圏域	ピストロ de ナカガワ	3回	24名
中宇治圏域	宇治教会・Café 紀翔	2回	22名
合計	8カ所	20回	292名

※北宇治地域包括支援センターが管轄する、榎島、北宇治、西宇治、南宇治圏域は除く。



【オンラインカフェのためのタブレット貸与事業も開始】

##### ② 認知症初期集中支援チーム事業の実施

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の方やその家族に早期に関わるための「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的に実施した。

チームは市内全域を対象として、圏域の包括等との連携により実施し、43件【中宇治圏域は29件】の訪問調査と介護サービス導入や、医療受診等必要な支援を行った。

③ 認知症を正しく理解するための連続講座の開催、認知症サポーター養成講座の調整

市民や市内の介護保険事業者、医療関係者に対して啓発事業の一環として、京都府立洛南病院副院長の森俊夫先生等を講師に、認知症を正しく理解いただくための連続講座を開催した。

全4回全ての講座を受講された方に宇治市長名で修了証を発行するとともに、希望者には宇治市の認知症事業のボランティアである「れもねいだー」に登録をいただいた。

また、れもねいだーを対象とした講座も別途開催した。

- ◆【認知症を正しく理解するための連続講座】受講者数：47名 新規れもねいだー登録者数：6名  
〔れもねいだー登録状況〕登録者数：97名

回	開催日	内容	講師
1	9月12日	認知症の医療とケア①	府立洛南病院 森俊夫先生
2	10月10日	認知症の医療とケア②	府立洛南病院 森俊夫先生
3	11月14日	認知症あんしんサポーター養成講座	認知症コーディネーター 児玉裕香
4	12月5日	宇治市の認知症施策のあゆみと展望	宇治市福祉サービス公社 川北雄一郎

- ◆【れもねいだー講座】 受講者数：25名(現：16名・新：9名)

開催日	内容
1月9日 10:00~12:00	1) 「認知症の人にやさしいまち・うじを目指して」れもねいだーへの期待 2) れもねいだー活動報告 3) グループミーティング&交流会

- ◆【認知症あんしんサポーター養成講座】

開催回数	受講者数
26回	730名

④ 認知症カフェ運営者・スタッフ研修

平成30年3月に市内に開設された京都認知症総合センターの機能強化事業として、京都府下で認知症カフェを運営している団体の運営者・スタッフを対象とした研修会を企画・実施した。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン研修とした。

開催日	テーマ(内容)	講師	開催場所	参加者数
11月19日	認知症の理解1	森 俊夫氏	オンライン研修	34名
12月11日	認知症の理解2	繁田雅弘氏	オンライン研修	37名
1月21日	認知症の人と家族の理解	河合雅美氏	オンライン研修	35名
2月26日	認知症カフェ運営について	矢吹知之氏	オンライン研修	39名
3月25日	まとめ・認知症カフェ総論	武地 一氏	オンライン研修	28名



## 5) 認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名(社会福祉士・看護師)と補助職員1名(社会福祉士)を配置し、市が掲げる「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて事業を実施した。認知症の本人・家族の声をもとに、ボランティア(れもねいだー)や企業(れもねいど加盟企業・団体)との共働により、事業に取り組んだ。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部変更しながらの開催となった。

### ① 第7回認知症フォーラム in 宇治の開催

テーマ 「新しい生活様式の中での認知症の人にやさしいまち・うじの歩み  
～ “認知症とともに生きる “を支える・考える～”

開催日 令和3年3月21日(日)

場 所 宇治市生涯学習センター

参加者 130名

内 容

1. 市長挨拶 松村淳子宇治市長

2. 基調報告「れもねいど2020～With コロナでの取り組み～」

れもねいどの取り組み 認知症コーディネーター 児玉裕香

コロナ状況における認知症の本人・家族への聞き取り調査報告 京都文教大学教授 平尾和之氏

3. 基調講演 僕らの時代 Part3～さまざまな出会い、そして前を向いて～

下坂厚氏(若年性認知症当事者 京都市西院デイサービスセンター職員)

河本歩美氏(社会福祉法人京都福祉サービス協会 高齢者福祉施設西院 所長)

4. 実践発表とディスカッション(コーディネーター 森俊夫氏)

1)実践報告 作業工房ほうおう

藤田佳児氏(認知症当事者 社会福祉法人悠仁福祉会京都認知症総合センター非常勤職員)

榊村雅文氏(社会福祉法人悠仁福祉会京都認知症総合センターカフェコーディネーター)

2)ディスカッション

松村市長 平尾氏 藤田氏 榊村氏 下坂氏 河本氏

5. れもねいどメッセージ2021 発表

② 宇治市認知症アクションアライアンス “れもねいど” 推進協議会の開催

宇治市認知症アクションアライアンスれもねいどの事務局として、当事者、関係団体代表者等で構成された推進協議会を年4回開催した。

回	日時	内容
第1回	6月29日 15:00~16:30	しごとれもん「お茶摘み編」の実施報告 今年度のれもねいどアクション実施計画について他
第2回	9月28日 15:00~16:30	しごとれもん「万願寺とうがらし編」の実施報告 各ワーキングチームの取り組みについて他
第3回	12月21日 15:00~16:30	しごとれもん「こかぶ編」の実施報告 各ワーキングチームの取り組みについて他
第4回	3月29日 15:00~16:30	第7回認知症フォーラムの報告 各ワーキングチームの取り組みについて他

宇治市地域福祉センター指定管理事業

指定管理者として、西小倉地域福祉センター、東宇治地域福祉センター、広野地域福祉センターの施設・設備にかかる管理運営を行った。（※新型コロナウイルス感染拡大防止により一部閉館）

1) デイルーム等の利用状況

◆実績

	西小倉		東宇治		広野		計	
	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)
男性	493	0	110	0	185	0	788	0
女性	671	0	293	0	622	0	1,586	0
計	1,164名	0	403名	0	807名	0	2,374名	0

2) 施設の利用状況

◆実績

利用区分 ※（ ）は広野での呼称	西小倉		東宇治		広野		計	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
ボランティアルーム	229	2,913	/	/	/	/	229	2,913
地域交流室(会議室)	295	7,983	305	7,622	209	3,295	809	18,900
研修室(介護者教育室)	292	7,943	305	7,622	215	3,416	812	18,981
料理教室	121	2,765	20	461	4	23	145	3,249
計	937 件	21,604 名	630 件	15,705 名	428 件	6,734 名	1,995 件	44,043 名

### 3) コミュニティカフェ及び地域福祉のつどい開催

今年度は新型コロナウイルス感染症感染対策の観点から地域住民向けの事業を中止とした。

#### 生活支援コーディネーター業務

生活支援体制整備事業の第1層・2層業務として、地域支援事業における要支援者等に対する新たな介護予防サービスの担い手養成やその担い手による通所型サービスの創設等に向けた支援業務を行った。

#### (1) 多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働に関する業務

##### ○ 宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（第1層）への出席

8月4日（火）・3月12日（金）に開催され、全ての会議に出席してグループワークでのファシリテーター及び当社が実施した事業について報告した。

##### ○ 宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）への取り組み（2層業務）

圏域単位の地域課題等を抽出し、整理、課題解決の取り組みである宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）については、地域包括支援センターと連携して、地域の関係者との関係づくりを進めた。

##### 【中宇治圏域】

団体名・地区	内容
琵琶台地区	これまでの小地域ケア会議は菟道第二学区全体についての会議であったが、学区内で琵琶台地区は最も高齢化が進んできており、琵琶台地区に限定して地域づくりに向けた話し合いの場が必要との危機感がきっかけとなり、学区福祉委員、自治会、喜老会、民生児童委員、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、市健康生きがい課が集まり、（仮）琵琶台ケア会議準備会を1月から開催した。

##### 【西宇治圏域】

団体名・地区	内容
伊勢田学区福祉委員会	コロナ禍の中での地域の活動状況についての状況把握のため意見交換を開催した。コロナ禍で活動が制約される中、お弁当の配食、学区福祉だよりの発行をされてきた。サロン活動も一時休会されていたが、感染症対策を施しながら徐々に再開されてきている。しかし高齢者の社会参加の場が減り、閉じこもりがちな生活を強いられていることで、フレイル状態になってきている。それを予防するため、子どもの登下校時の見守りに高齢者の力を活かさないか育友会と連携した取り組みを検討していくことになる。

- 中宇治圏域（菟道学区・菟道第二学区・大開学区）及び西宇治圏域（伊勢田学区・北小倉区・南小倉学区・西小倉学区）を対象に、地域資源（主に公園、集会所）と物理的環境の情報収集のための地区踏査を行った。

(2) 生活支援サービス等の担い手となるボランティアの養成等に関する業務

- 宇治源輝人講座の実施（宇治市健康長寿サポーター養成講座入門編）

地域のボランティア活動等の担い手として、地域住民の暮らしを支えることや新たに地域での活動に参加いただくことを目的に、より幅広い市民に受講いただくため名称、内容を一部変更して開催した。

内 容	講 師	第 1 回	第 2 回
■超高齢社会を元気に生きるヒント アクティブなシニアライフを共に考えてみませんか？	宇治市福祉サービス公社 事務局次長 川北 雄一郎	9月10日	1月15日
■元気に過ごすために身体を動かそう	宇治市福祉サービス公社 細川 佐理 ・阪東 美可子	9月15日	1月21日
■わがまちの地域活動を学ぼう ■グループ交流	宇治市健康長寿サポーター 太田 久美子氏	9月18日	1月27日
受講者数		19名	24名
サポーター登録		14名	10名

- 宇治市健康長寿サポーター養成講座（実践編）の実施（訪問型・通所型合同講座）

宇治源輝人講座を受講し、健康長寿サポーターとして登録された方、既に健康長寿サポーターとして活動される方を対象に、住民主体通所型サービスや通いの場、あるいは訪問型サービスや助け合い活動等を立ち上げていくための必要なスキルを学ぶことを目的に実践編の講座を開催した。

内 容	講 師	第 1 回	第 2 回
■「人生 100 歳時代 超高齢社会における現状と課題」	宇治市福祉サービス公社 生活支援コーディネーター 芦田 康雄	10月1日	2月17日
■「楽しくボランティア活動をするために」 ■見学会希望アンケートについて	元龍谷大学教授 岡野 英一氏	10月6日	2月26日
■宇治市で取り組まれている地域活動について学ぼう	宇治市福祉サービス公社 生活支援コーディネーター 芦田 康雄	10月13日	3月2日
■現場実習	現場実習	10月14日 ～ 10月28日	新型コロナウイルス感染拡大により中止

■やりたい活動を見つけよう	活動団体との出会いの場 《参加団体》 ◎つどいのえまり（笑舞利）他4団体	11月5日	新型コロナウイルス感染拡大により中止
受講者数		6名	9名

○ 資源開発に関する業務

地域組織等への働きかけ・広報啓発として、町内会やサロン、自治会等の会場に出向き、支え合いの大切さ、地域のつながりの大切さについて問いかけ、地域づくりの基盤づくりを行った。

「気にかけて合う地域づくり勉強会」出前講座の実施

実施日	訪問先	参加人数
12月8日	歌笑会（西小倉地域福祉センター会場）	35名
12月16日	歌笑会（宇治市生涯学習センター会場）	25名

○ 「第5回宇治市健康長寿フェス2021」の開催

新型コロナウイルス感染症防止対策として、無観客にて開催し、宇治市ホームページにて動画配信を行った。また、無観客開催となったため、企画していた健康長寿サポーターLINEのお友だち登録キャンペーン、通いの場スタンプラリーについては中止となった。

開催日：令和3年2月20日（土）13時～16時
場 所：宇治市生涯学習センター 第一ホール
内 容：①基調講演 ～今だからこそ、つながりの大切さを実感～ つながり続ける各地の取り組み 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 主席研究員 服部 真治氏 ②活動紹介 ・つどいの笑舞利 ・北畠ラルゴ木幡

また、令和3年2月9日～10日の2日間にわたり市役所1階エスカレーター横にてPR展を実施した。

○ 「通いの場団体・生活支援団体サミット（意見交換会）」の開催

「第5回宇治市健康長寿フェス2021」の一環として通いの場団体及び生活支援団体の関係者にお集りいただき、団体間同士の交流、コロナ禍での課題やその解決方法等について意見交換を目的に意見交換会を開催した。

	参加団体数・人数	傍聴団体数・人数	その他
通いの場団体	5団体・9名	5団体・7名	2団体・2名
生活支援団体	6団体・9名		

○ 介護予防・生活支援サービスの立ち上げ・運営支援

【住民主体通所型サービス】

- ★住民主体通所型サービス6団体への運営支援（情報提供、運営サポート、月例会議への出席等）を行った。
- ★新たな活動団体として、令和元年度から南宇治圏域において準備会を月2回の頻度で開催し、平盛デイサービスセンター 介護者教育室を会場に、令和2年9月に「みんなの平盛」を立ち上げた。
- ★新型コロナウイルス感染症の中でも地域のつながりを絶やさないために、冊子「LINEの無料通話やビデオ通話を使って、交流や相談をしてみませんか」を作成し、関係団体等に配布した。
- ★健康長寿サポーターが中心となって市内6カ所において開催されている住民主体通所型サービスの関係者に集まっていただき、それぞれの活動内容、課題等の情報交換、交流を深めながら今後の運営の参考とするために「住民主体通所型サービス実施団体連絡会」を実施した。

【生活支援】

- ★訪問による生活支援団体の立ち上げに向けて、生活支援活動に参加希望の健康長寿サポーターを対象に8月から4回シリーズで勉強会を開催した。  
その後、立ち上げ検討会を月2回の頻度で開催し、23名のサポーターにより訪問生活支援「母子草（ははこぐさ）」を立ち上げた。  
令和3年1月に各地域包括支援センターへ「母子草（ははこぐさ）」の説明と支援希望者の紹介依頼に回り、紹介があった方へモデル的に支援活動を行った。  
（活動実績 依頼12件、支援5件）

宇治市生活支援員（通称39支援員）養成事業

要支援認定等の高齢者に対して、掃除・買い物・洗濯等の家事のみを支援するサービスが平成29年4月から開始され、その担い手として従事できる方を養成する研修を実施した。

今年度より国の介護職員入門的研修（21時間）との併用開催となり、不足時間分については宇治市独自のカリキュラムを組み39時間の宇治市独自の生活支援員養成研修として開催した。

定員20名のところ10名が受講し、修了された。

◆実績

実施時期	9月28日～11月13日（16日間）
受講者数	10名
修了者数	10名
入職者数	1名

## 脳活性化事業（歌笑会）

新型コロナウイルスの影響で、4月～6月の講座は中止となったが、代替えとして動画による「おうち歌笑会」を作成し、宇治市のYouTubeチャンネルにて市民に視聴いただいた。

7月より再開したものの、福祉施設での開催が困難となり、地域福祉センターに会場を変更し、事前予約制や定員の削減、歌唱メニューの変更等を余儀なくされたが、概ね好評を得た。

### ◆実績

会場	男性 (延べ)	女性 (延べ)	合計	定員充足率 (%)	実人数
西小倉地域福祉センター (定員 40 名)	22 名	252 名	274 名	85.6%	71 名
宇治市生涯学習センター (定員 30 名)	16 名	161 名	177 名	84.3%	55 名
東宇治地域福祉センター (定員 40 名)	26 名	145 名	171 名	53.4%	46 名
計	64 名	558 名	622 名	73.2%	172 名

## 宇治市福祉人材研修事業

市からの受託事業として、市内の介護保険事業者を対象とした研修を9回実施した。

緊急事態宣言の期間は集合での研修が開催できなかったため、動画による研修とした。

### ◆実績

	研修名	実施日	参加人数
1	今さら聞けない！「ケアプランの基本」	6月11日	29名
2	「介護予防プラン」を学ぼう！	7月16日	27名
3	ケアの実践における対人援助の方法について考える	8月25日	15名
4	医療知識シリーズ① 変化している在宅療養の姿	9月24日	28名
5	医療知識シリーズ② 1、薬の知識と正しい使い方 2、介護に重要な観察とケア・感染予防のポイント	10月14日	29名
6	看取りを学ぶ「誰もが望む生活と望む最期を～ACPを通じて～」	11月14日	30名
7	精神疾患の理解とそのケア～地域で支えるということ～	12月18日	25名
8	介護現場に求められる災害への備え～命を守る～（オンライン）	2月5日～	104名
9	「地域！在宅！を支える～支援のカギは？」（オンライン研修）	2月26日～	60名

## 産後ケア事業（訪問型）

宇治市福祉こども部保健推進課の事業である産後ケア事業のうち、訪問による家事支援の事業を受託し、介護福祉士資格を有するサポーターを派遣した。

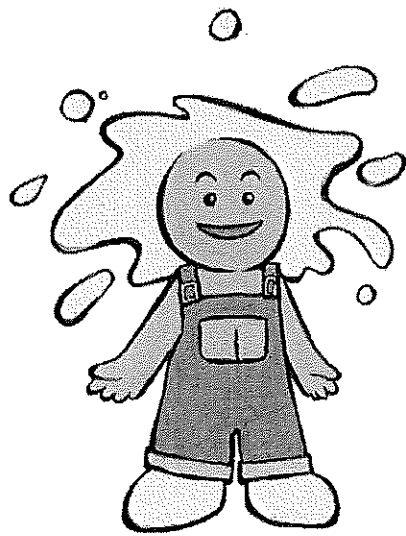
### ◆実績

実利用者数	19名
延べ利用回数	100回
延べ利用時間	139時間



【産後ケアに携わるサポーターの研修風景】





利用者とともに 市民とともに

理事会議案第 2 号  
評議員会議案第 3 号

「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2020 年度（令和 2 年度）決算報告書」  
について

一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2020 年度（令和 2 年度）収支決算を次のとおり報告する。

一般財団法人宇治市福祉サービス公社  
理事長 塚 原 理 俊

令和 3 年 5 月 31 日 理事会 提出・可決  
令和 3 年 6 月 23 日 定時評議員会 提出・可決

2020 年度（令和 2 年度）

# 決 算 報 告 書

（令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日）

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

# 貸借対照表

令和3年3月31日 現在

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	115,117,069	90,094,328	25,022,741
未収金	109,092,055	113,639,799	△ 4,547,744
仮払金	2,200	0	2,200
立替金	0	5,390	△ 5,390
貸倒引当金	△ 670,000	△ 710,000	40,000
流動資産合計	223,541,324	203,029,517	20,511,807
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
定期)京都銀行	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定財産			
公益目的特定資産	0	0	0
高齢者福祉事業基金	1,000,000	1,000,000	0
財務運営調整基金	10,000,000	0	10,000,000
特定資産合計	11,000,000	1,000,000	10,000,000
(3) その他固定資産			
建物	3,562,667	3,562,667	0
建物減価償却累計額	△ 2,479,552	△ 2,401,079	△ 78,473
建物付属設備	14,454,562	14,454,562	0
建物付属設備減価償却累計額	△ 10,817,738	△ 10,089,446	△ 728,292
什器備品	10,101,215	13,952,961	△ 3,851,746
什器備品減価償却累計額	△ 7,629,560	△ 11,363,050	3,733,490
車両運搬具	3,813,750	3,813,750	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 3,813,748	△ 3,813,748	0
少額減価償却資産	4,735,549	4,735,549	0
少額資産減価償却累計額	△ 4,735,549	△ 4,735,549	0
リース資産	41,202,060	38,185,620	3,016,440
リース資産減価償却累計額	△ 20,184,467	△ 26,819,645	6,635,178
ソフトウェア	83,268	210,276	△ 127,008
電話加入権	305,760	305,760	0
構築物	700,000	700,000	0
構築物減価償却累計額	△ 478,989	△ 445,086	△ 33,903
一括償却資産	4,417,727	4,417,727	0
一括償却資産減価償却累計額	△ 4,125,019	△ 3,628,587	△ 496,432
その他固定資産合計	29,111,936	21,042,682	8,069,254
固定資産合計	50,111,936	32,042,682	18,069,254
資産合計	273,653,260	235,072,199	38,581,061

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	55,475,000	60,036,138	△ 4,561,138
預り金	3,539,621	3,991,853	△ 452,232
法人税等充当金	8,521,000	80,000	8,441,000
賞与引当金	30,295,303	30,321,367	△ 26,064
流動負債合計	97,830,924	94,429,358	3,401,566
2. 固定負債			
リース債務	21,281,072	12,095,100	9,185,972
退職給付引当金	62,463,392	60,484,022	1,979,370
固定負債合計	83,744,464	72,579,122	11,165,342
負債合計	181,575,388	167,008,480	14,566,908

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
Ⅲ. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当金)	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	92,077,872	68,063,719	24,014,153
うち基本財産充当額(一般)	10,000,000	10,000,000	0
うち特定財産充当額(一般)	11,000,000	1,000,000	10,000,000
正味財産合計	92,077,872	68,063,719	24,014,153
負債及び正味財産合計	273,653,260	235,072,199	38,581,061

## 正味財産増減計算書

令和2年4月01日から  
令和3年3月31日まで

全事業

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,002	0	1,002
基本財産受取利息	1,002	0	1,002
受取会費	396,000	414,000	△ 18,000
賛助会員受取会費	396,000	414,000	△ 18,000
事業収益	749,340,899	760,174,679	△ 10,833,780
介護保険収益	398,467,895	406,435,037	△ 7,967,142
介護予防収益	78,096,303	85,775,872	△ 7,679,569
介護保険外収益	73,648,771	73,874,630	△ 225,859
利用者負担金収益	53,702,677	57,080,780	△ 3,378,103
福祉情報センター事業収益	926,180	480,080	446,100
受託事業収益	144,499,073	136,528,280	7,970,793
受取補助金	13,487,480	2,957,793	10,529,687
地方公共団体等補助金	13,487,480	2,957,793	10,529,687
受取利息配当金収益	1,090	874	216
受取寄付金	0	0	0
雑収益	4,227,258	4,440,081	△ 212,823
経常収益計	767,453,729	767,987,427	△ 533,698

(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
(2)経常費用			
事業費			
役員報酬	0	4,224,080	△ 4,224,080
給料手当	197,177,857	244,339,827	△ 47,161,970
アルバイト賃金	199,390,417	208,037,415	△ 8,646,998
職員賞与	57,628,538	69,606,540	△ 11,978,002
退職金	4,225,080	8,842,512	△ 4,617,432
法定福利費	55,403,822	68,030,385	△ 12,626,563
福利厚生費	2,596,637	2,701,304	△ 104,667
給食材料費	11,447,949	8,932,082	2,515,867
会議費	0	0	0
旅費交通費	84,690	435,432	△ 350,742
通信運搬費	6,118,121	6,656,171	△ 538,050
消耗品費	7,346,406	6,606,410	739,996
修繕費	2,542,830	2,154,518	388,312
印刷製本費	316,820	446,956	△ 130,136
燃料費	2,916,470	3,797,974	△ 881,504
光熱水費	7,344,308	24,468,971	△ 17,124,663
支払助成金	0	800,000	△ 800,000
賃借料	11,840,466	14,237,496	△ 2,397,030
保険料	2,824,685	2,605,410	219,275
諸謝金	2,448,948	2,529,938	△ 80,990
租税公課	103,210	178,050	△ 74,840
支払負担金	237,680	506,540	△ 268,860
委託費	29,183,918	45,265,915	△ 16,081,997
備品費	2,660,770	327,996	2,332,774
手数料	581,199	353,326	227,873
使用料	2,164,118	2,721,056	△ 556,938
広告料	33,844	32,476	1,368
支払寄附金	0	0	0
雑費	38,876	7,549	31,327
貸倒損失	0	0	0
貸倒引当金繰入	0	0	0
支払利息	0	0	0
法人税等	0	0	0
建物減価償却費	0	78,473	△ 78,473
建物附属減価償却費	0	757,518	△ 757,518
構築物減価償却費	0	39,104	△ 39,104
什器備品減価償却費	0	698,516	△ 698,516
車両減価償却費	0	0	0
少額減価償却資産減価償却費	0	0	0
リース資産減価償却費	0	2,904,269	△ 2,904,269
一括償却資産減価償却費	0	844,153	△ 844,153
ソフトウェア減価償却費	0	0	0

勘定科目名	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬	5,101,320	1,724,240	3,377,080
給料手当	37,791,947	2,255,688	35,536,259
アルバイト賃金	3,816,505	1,789,792	2,026,713
職員賞与	11,176,539	563,400	10,613,139
退職金	2,842,455	249,938	2,592,517
法定福利費	9,579,472	514,674	9,064,798
福利厚生費	1,521,936	1,427,400	94,536
給食材料費	0	0	0
会議費	22,541	132,358	△ 109,817
旅費交通費	10,790	93,340	△ 82,550
通信運搬費	1,739,399	1,245,131	494,268
消耗品費	1,411,958	907,609	504,349
修繕費	429,336	130,580	298,756
印刷製本費	251,100	480,127	△ 229,027
燃料費	112,070	48,368	63,702
光熱水費	14,559,114	1,255,662	13,303,452
賃借料	2,300,706	1,469,274	831,432
保険料	426,880	270,446	156,434
諸謝金	4,359,731	4,171,540	188,191
租税公課	6,572,950	5,282,670	1,290,280
支払負担金	698,200	805,640	△ 107,440
委託費	8,431,686	4,936,269	3,495,417
備品費	64,038	135,831	△ 71,793
手数料	1,579,281	203,908	1,375,373
使用料	476,802	306,274	170,528
広告料	181,354	75,675	105,679
支払寄附金	0	0	0
雑費	16,822	16,676	146
貸倒損失	0	0	0
貸倒引当金繰入	0	0	0
支払利息	0	0	0
法人税等	0	0	0
建物減価償却費	78,473	0	78,473
建物附属減価償却費	728,292	0	728,292
構築物減価償却費	33,903	0	33,903
什器備品減価償却費	536,256	0	536,256
車両減価償却費	0	0	0
少額減価償却資産減価償却費	2,363,107	0	2,363,107
リース資産減価償却費	4,861,782	0	4,861,782
一括償却資産減価償却費	496,432	0	496,432
ソフトウェア減価償却費	127,008	185,814	△ 58,806
経常費用計	731,357,844	764,846,686	△ 33,488,842
当期経常増減額	36,095,885	3,140,741	32,955,144



(単位:円)

勘定科目名	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0
介護慰労金補助金収益	12,057,000	0	12,057,000
貸倒引当金戻入	40,000	10,000	30,000
経常外収益計	12,097,000	10,000	12,087,000
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	9	△ 9
固定資産圧縮損	3,600,419	0	3,600,419
介護慰労金費用	12,057,000	0	12,057,000
経常外費用計	15,657,419	9	15,657,410
当期経常外増減額	△ 3,560,419	9,991	△ 3,570,410
税引前当期一般正味財産増減額	32,535,466	3,150,732	29,384,734
法人税	8,521,313	80,127	8,441,186
当期一般正味財産増減額	24,014,153	3,070,605	20,943,548
一般正味財産期首残高	68,063,719	64,993,114	3,070,605
一般正味財産期末残高	92,077,872	68,063,719	24,014,153
II. 指定正味財産の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	92,077,872	68,063,719	24,014,153

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

この財務諸表は、「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)を採用している。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

建物	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。
建物付属設備・構築物	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定率法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定率法、平成28年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。
その他の有形固定資産	平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定率法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定率法によっている。
所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産	リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
ソフトウェア	定額法

#### (2) 引当金の計上基準

##### ① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、未収入金の期末残高に法人税法の規定により計算した金額を貸倒引当金として計上している。

##### ② 賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、翌期の賞与支給予定額のうち当期に含まれる支給対象期間に対応する金額を賞与引当金として計上している。

##### ③ 退職給付引当金

当社は、平成16年5月より退職金制度を確定拠出型の中小企業退職金共済制度に移行した。ただし、従来の退職金制度により計算される退職一時金の額が中退共より支給される額を超える場合は不足額が当会社より補填される特約があるため、これに該当する職員については当期末支給額から中退共よりの当期末支給額を控除した金額を退職給付引当金として計上している。

#### (3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。但し、リース契約1件当たりのリース料総額が300万以下の取引等については賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (4) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定財産				
高齢者福祉事業基金	1,000,000	0	0	1,000,000
財務運営調整基金	0	10,000,000	0	10,000,000
小計	1,000,000	10,000,000	0	11,000,000
合計	11,000,000	10,000,000	0	21,000,000

### 3. 基本財産及び特定財産の財源等の内訳

基本財産及び特定財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
京都銀行 定期預金	10,000,000	0	(10,000,000)	—
小計	10,000,000	—	(10,000,000)	—
特定財産				
高齢者福祉事業基金	1,000,000	0	(1,000,000)	—
財務運営調整基金	10,000,000	0	(10,000,000)	—
小計	11,000,000	—	(11,000,000)	—
合計	21,000,000	—	(21,000,000)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	3,562,667	2,479,552	1,083,115
建物附属設備	14,454,562	10,817,738	3,636,824
構築物	700,000	478,989	221,011
什器備品	10,101,215	7,629,560	2,471,655
車両運搬具	3,813,750	3,813,748	2
リース資産	41,202,060	20,184,467	21,017,593
ソフトウェア	24,320,708	24,237,440	83,268
合 計	98,154,962	69,641,494	28,513,468

注) 什器備品の取得価額は地方公共団体補助金による固定資産圧縮額6,287,366円を控除した後の金額である。

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	記載区分
社会福祉法人等利用者負担減額金	宇治市	0	8,825	8,825	0	一般正味財産
キャリアアップ助成金	京都労働局	0	284,000	284,000	0	一般正味財産
特定就職困難者雇用開発助成金	京都労働局	0	800,000	800,000	0	一般正味財産
障害者雇用安定助成金	京都労働局	0	360,000	360,000	0	一般正味財産
雇用調整助成金	京都労働局	0	2,021,136	2,021,136	0	一般正味財産
緊急雇用安定助成金	京都労働局	0	541,519	541,519	0	一般正味財産
新型コロナ緊急包括支援事業助成金	京都府	0	8,722,000	8,722,000	0	一般正味財産
新型コロナ緊急包括支援事業助成金(財務金)	京都府	0	12,057,000	12,057,000	0	一般正味財産
新型コロナ関係者採用支援事業補助金	京都府	0	300,000	300,000	0	一般正味財産
児童福祉施設等感染拡大防止対策事業補助金	宇治市	0	300,000	300,000	0	一般正味財産
新型コロナ感染症対策助成金	宇治市	0	150,000	150,000	0	一般正味財産
合 計		0	25,544,480	25,544,480	0	

6. その他

該当なし

## 貸借対照表に関する注記

実施事業資産は、次の通りである。

(単位：円)

項目	金額
実施事業資産	.0

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に内容を記載しております。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	710,000	670,000	0	710,000	670,000
賞与引当金	30,321,367	30,295,303	30,321,367	0	30,295,303
退職給付引当金	60,484,022	1,979,370	0	0	62,463,392
小 計	91,515,389	32,944,673	30,321,367	710,000	93,428,695

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、立替金、仮払金、未払金、預り金、仮受金及び法人税等充当金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	90,094,328	115,117,069
未収金	113,639,799	109,092,055
仮払金	0	2,200
立替金	5,390	0
合 計	203,739,517	224,211,324
未払金	60,036,138	55,475,000
預り金	3,991,853	3,539,621
仮受金	0	0
法人税等充当金	80,000	8,521,000
合 計	64,107,991	67,535,621
次期繰越収支差額	139,631,526	156,675,703

# 監査報告書

令和3年5月18日

一般財団法人宇治市福祉サービス公社  
理事長 塚原 理俊 様

監事 服部 広志

監事 池田 正彦

私たち監事は、法令及び当公社定款の規定に基づき、一般財団法人宇治市福祉サービス公社(以下「当公社」という。)の2020年度(令和2年度)令和2年4月1日から令和3年3月31日までの監査を実施したので、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会に出席し、理事からその職務の執行状況についての報告を聴取し、また、当公社の事務所において、帳簿並びに重要な書類等を閲覧するとともに、事業報告等及び計算書類等を受領してその説明を受け、これらについての検討を行いました。

## 2. 監査の結果

### (1)事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、当公社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

### (2)計算書類及びその付属明細書の監査結果

- ① 計算書類及び付属明細書は当公社の財産及び損益の状況を適正に表示しているものと認めます。

### (3)その他特記事項

- ① 新たな事業の開拓による収益事業等の増収に向けた取り組みと、併せて、人材の確保・定着・育成に向けた更なる努力に期待します。

以上